

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
美原地区	美原地区	1,315	56	1,110.09	2	45.78	1,156	
豊栄地区	豊栄地区	332.32	12	221.93	0	0	222	
篠津地区	篠津地区	849.67	42	819.41	1	16.04	835	
八幡地区	八幡地区	419	21	306.80	0	0	307	
豊幌地区	豊幌地区	909.59	31	642.43	4	131.93	774	
江別太地区	江別太地区	654	28	499.67	1	6.5	506	
角山地区	角山地区	642.48	9	441.58	1	9.5	451	
上江別・下の月地区	上江別・下の月地区	219	13	167.44	5	27.42	195	
野幌地区	野幌地区	1594.34	65	1,135.96	2	34.5	1,170	
協和機農地区	協和機農地区	106.87	4	85	2	17.8	103	
元野幌地区	元野幌地区	431.7	10	234.68	1	15	250	

注1:1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2:「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3:「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。